

問1 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。 （2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権
2. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権
3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利
4. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可

問2 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。 （2019年 岡山公立入試 類似）

1. 漢字
2. ひらがな
3. カタカナ
4. ローマ字

問3 古代の日本において、ヤマト政権が朝鮮半島諸国との外交や軍事活動を通じて、他勢力に対し優位に立つために最も獲得を重視した資源はどれか。 （2020年 鳥取公立入試 類似）

1. 武器や農具の材料となる鉄
2. 外交の儀礼に用いられる仏教の経典
3. 権威を象徴するための金印や銅鏡
4. 貨幣の原料となる金や銀

問4 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 （2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。
2. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。
3. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。
4. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。

問5 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていましたか。 （2015年 岡山公立入試 類似）

1. 大王
2. 執権
3. 天皇
4. 將軍

問6 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。 （2024年 栃木公立入試 類似）

1. 中国の南朝
2. 唐
3. 隋
4. 漢

問7 4世紀から5世紀にかけて、近畿地方を中心に誕生した「前方が方形で後方が円形」という特徴を持つ巨大な墳墓が、九州から東北地方まで広く分布するようになった歴史的背景について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。 （2019年 富山県公立入試 類似）

1. ヤマト王権の支配力や政治的な影響力が、近畿地方から日本各地へと拡大したため
2. 仏教の伝来によって、全国の豪族が共通の形式で墓を作る宗教的義務を負ったため
3. 大陸から渡来した人々が、自分たちの故郷で一般的だった墓の形を全国に広めたため
4. 各地の豪族が、ヤマト王権に対抗するために独自に巨大な墳墓を築くことを競い合ったため

問8 紀元1世紀から17世紀までの東アジアにおける日本の対外関係をまとめた年表において、最も古い時期に記される「後漢への朝貢」に関連する問いです。当時の倭の奴国の王が中国の皇帝から授かったとされる、現在の福岡県志賀島で出土した品物はどれですか。 （2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 「漢委奴国王」と刻まれた金印
2. 「親魏倭王」と刻まれた金印
3. 「日出処天子」と記された国書
4. 勘合貿易で用いられた割符

問9 倭の五王の一人である「武」は、中国の南朝の皇帝に上表文（手紙）を送り、自らの祖先がいかにして国土を広げたかを伝えました。この「武」は、日本の歴史上のどの人物であると比定（推定）されていますか。 （2024年 大阪公立入試 類似）

1. ワカタケル大王（雄略天皇）
2. 聖徳太子（厩戸王）
3. 中大兄皇子（天智天皇）
4. 卑弥呼